

環境会計（2011 年度）

2011 年度の費用額は、土壌汚染に関連した分析コストおよび人件費の増加により、対前年度比 14.1% 増となりました。投資額が大幅に増えたのは、ヒートポンプやターボ冷凍機などの設備機器を高効率なものへ更新したことによるものです。また、経済効果が 7.9% 増加したのは、東日本大震災に伴う節電の取り組みと、省エネ設備導入による効果です。

●集計範囲：国内アンリツグループ

●集計期間：2011 年 4 月 1 日から 2012 年 3 月 31 日

[] 内の数値は、2010 年度実績

環境保全コスト				効果	
大分類	中分類	投資額 (百万円)	費用額 (百万円)	経済効果 (百万円)	物量削減効果
事業エリア内コスト	公害防止コスト (リスク対策含む)		1.8 [0]	23.2 [17.3]	146.1 [146.1]
	地球環境保全コスト	温暖化防止	19.4 [5.8]	7.6 [6.0]	98.0 [76.8]
	資源循環コスト	資源循環/活用活動		95.4 [91.8]	0.0 [0.1]
		廃棄物処理費用		29.5 [24.6]	9.1 [13.7]
上下流コスト	グリーン購入/調達コスト			23.0 [23.3]	643 (トン-CO ₂) [718 (トン-CO ₂)] *
	環境配慮型製品設計			32.0 [22.1]	
	製品・容器包装などリサイクル、回収、処理			0.5 [0.0]	
管理活動コスト	環境教育/人材育成			19.5 [18.7]	0
	EMS運用・維持、内部監査			45.8 [58.9]	0
	環境負荷の監視測定コスト			32.8 [3.6]	0
	環境保全対策組織の人件費			5.2 [9.2]	0
	緑化整備・維持			10.5 [9.0]	0
社会活動コスト	地域・環境保全団体などへの支援			1.3 [1.2]	0
	情報公開			7.9 [6.6]	2.4 [0.2]
研究開発コスト	環境負荷低減のための研究開発			2.0 [2.1]	0
環境損傷対応コスト	環境損傷対応のためのコスト			0.0 [0.0]	0
合計		21.2 [5.8]	336.0 [294.4]	286.7 [271.8]	
上下流コストを除いた合計				255.5 [236.9]	
前年度比		265.7%	14.1%	7.9%	

*製品使用時における環境負荷抑制効果（みなし効果）削減電力：1837 MWh [2052.4 MWh]

アンリツグループでは、温室効果ガス削減の取り組みの一環として、省エネタイプの設備への交換を順次行っています。

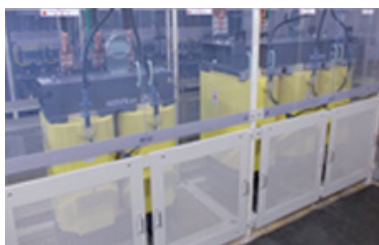
2011 年度は、高効率ヒートポンプチラーに更新したことにより、4 台から 3 台に台数を減らすことができました。

また、変圧器を高効率のアモルファス変圧器へ更新しています。

これからも、省エネ施策を拡大し、さらなる温室効果ガス削減に努めます。

● 省エネ設備投資額：6,471（万円）

● CO₂ 削減効果：60.64（t）



アモルファス変圧器



高効率ヒートポンプチラー